

## 訂正とお詫び

日頃より、グラフ誌「ながさきにこり」をご愛読いただきましてありがとうございます。

本誌 14 ページに記載してあります鉄川与助氏に関する記述の中で、「設計者のド・口神父を通して、初めて与助が西洋建築にふれた記念すべきものである。～その後、与助が各地で多くの教会堂を手掛けたことを考えると、ド・口神父との出会いが天のめぐり合わせのように思えてならない。」と記載しておりましたが、調査の結果、鉄川与助氏が、初めて西洋建築にふれたのはそれ以前であり、すでに多くの教会堂を手掛けていたことから、事実に基づいた記述ではないことが判明しました。関係者の皆様並びに読者の皆様にご迷惑をおかけしましたことをここに謹んでお詫び申し上げます。

また、本誌 4 ページと、「にこり」第 20 号（平成 25 年 9 月発行）6 ページに門外不出の陶磁器と記載してあります「中国の陶磁器」についても、調査の結果、門外不出という事実はなかったことが判明いたしました。重ね重ねの不手際で、多くの関係者の皆様並びに読者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを謹んでお詫び申し上げます。

今後はこのようなことがないよう細心の注意を払ってまいりますので、引き続き「ながさきにこり」をご愛読いただきますようお願い申し上げます。

長崎県広報課